

「クラシノコアゲ応援団」福島県中央街頭行動第 12 弾

交渉結果を未組織労働者にも波及させよう！

～経済弱者を生まない、低所得層の底上げが必要！～

連合福島は、一昨年 12 月にクラシノソコアゲ応援団を組織し、この間定期的な取り組みを展開しており、この程 4 月 6 日（木）16 時 45 分～福島市内中合前ツイン広場において第 12 弾の街頭行動を実施した。

冒頭、主催者を代表して今泉 裕会長は、「今春闘は精一杯がんばっているが、地元の交渉の山場はこれからという状況であり、今までにない厳しさと難しさの中ではあるが、成果を期待したい。とりわけ、低所得層の底上げをしていかなければ経済弱者を生んでしまうことにつながり、これは避けなければならない。福島県最低賃金もリビングウェイジ（必要生計費）の 860 円を達成し、出来るだけ早く 1,000 円の実現に全力を注ぐ。所得の低さは、子育てや教育問題にも直結する問題であり、連鎖を解消することが重要と考える。さらに、働き方改革にも迫られており、取沙汰されている長時間労働の問題や同一労働同一賃金の問題。これらは、変革の時代の要請であり、何としても

実のある対応が求められる。また、奨学金制度も経済的事情で教育の道が閉ざされることの無いよう、さらなる拡充を求めていかなければならない。市民の皆さんの賛同をお願いしたい。」と挨拶した。続いて、民進党福島県連の立場で政務調査副会長の大場秀樹県議会議員、社民党福島県連からは代表の紺野長人県議会議員から連帯激励の挨拶を受けた後、加藤光一事務局長から福島県最低賃金を取り巻く課題と引き上げの必要性を声高にアピールし、理解と共有を求めた。そして、労働組合のある職場の精一杯の交渉結果が、組合がなく交渉の場がないすべての働く方に波及し、ひとつ一つの暮らしの底上げに結び付くことを願い、連合福島役員による総行動を締めた。啓発チラシ入ティッシュは、実に 1,500 個を超える配布となった。



大場秀樹福島県議会議員



今泉裕連合福島会長



紺野長人福島県議会議員



加藤光一連合福島事務局長

と挨拶した。続いて、民進党福島県連の立場で政務調査副会長の大場秀樹県議会議員、社民党福島県連からは代表の紺野長人県議会議員から連帯激励の挨拶を受けた後、加藤光一事務局長から福島県最低賃金を取り巻く課題と引き上げの必要性を声高にアピールし、理解と共有を求めた。そして、労働組合のある職場の精一杯の交渉結果が、組合がなく交渉の場がないすべての働く方に波及し、ひとつ一つの暮らしの底上げに結び付くことを願い、連合福島役員による総行動を締めた。啓発チラシ入ティッシュは、実に 1,500 個を超える配布となった。



啓発チラシ入りティッシュを配る